

2024年2月9日

山陽小野田市議会
議長 高松秀樹様

山陽小野田市小野田 3929 C-202

樋口 晋也

陳情書

市議会議員の報酬は公費によって賄われています。その公費は議員が議会人として取組む本会議や委員会、市民懇談会、議会報告会等のいわゆる議会における公務に対する報酬として支払われています。このことから病気やご不幸ごとなどの特別な事由を除き議員にとって公務は全てに優先する義務であると認識しています。

山田伸幸議員は個人活動として、明るいまちへの誹謗中傷記事の執筆や自身のブログを更新すること等大変熱心に取り組まれているようです。

では公務である議会報告会と、個人的活動のセミナーはどちらが優先されるのでしょうか。

山田議員は12月定例会本会議場での採決時に居眠りをして醜態を晒しています。更に今度は公務を放置して遊びに行くとは言語道断。

議会人として最低限の「居眠りをしない」、「公務は最優先で出席する」義務を果たせない者に「一般財源が大事」だとか、「介護保険事業の見直し」を語る資格はありません。このような議員を放置することは市民による議会への信頼を損なう行為です。

よって山田伸幸議員に対して下記3点陳情いたします。

記

陳情事項：①嚴重な処分

②公務とは何かの勉強会とテストの実施

③議員報酬の一部返納

提出理由：1月30日の議会報告会に出席せず東京で遊んでいたこと

提出根拠：①山陽小野田 明るいまち 2024/2/4 No.924 記載の記事

②山田伸幸議員の、ブログ1月29日の書き込み、1月30日 Facebook 書き込み

尚、何らかの処分にあたっては、山田議員は日本語の解釈能力に少し問題があるように思いますので噛み砕いて時間をかけて丁寧な説明が必要と考えておりますのでご配慮ください。

以上





地方議会議員政策セミナーレポート第1講義 森裕之立命館大学教授
地方自治体の力量が試される時代



立命館大学 森教授

**景気回復とともに税収が増加
 住民のニーズに合った諸施策を展開するチャンス**

29日と30日の二日間、山田議員が東京で開催された地方議会議員政策セミナーに参加してきました。29日は全体会で政府予算案と第9期介護保険事業についての講義であった。

地方財政の基礎から

最初に登壇されたのは、立命館大学 森裕之教授。
 森教授は、地方財政の基本的な特徴から講義に入り、国の予算が決まり地方の予算に大きく影響していくこと。

地方財政は家計と違い、自治体は物を売り、サービスを行うが収入を得ていない。収入は税金として住民から徴収する。収入の不足は地方交付税として国から交付される。
一般財源と特定財源
 一般財源は自治体が用途を決めることができる。



自治体の力量によりサービスが異なる。
 特定財源は国の事業に補助金などが交付されるが、用途が限られる。

特に重要なのが一般財源であり、自治体が行いたい施策を実行することができる。一般財源が少なければ、特定財源も少なくなる。自治体の財政指標のすべてが一般財源との関係で判断される。

基準財政需要額

これからの地方は、国から自立する自治体の力量が試される。
 基準財政需要額は自治体

が行う様々な住民サービスを実施するために必要な額を算出し、自治体独自の財源と比較し、足りない分を地方交付税として国が特別会計から交付する。仕組みは下図で示したとおりです。(図は山田作成)



新年度予算への対応

森教授は講義の最後に、新年度予算に地方議会がどう関わるかについて次のようにまとめられました。

- ① 財務省主導で財政再建路線が強められ、地方財政は自立が求められる。
- ② 日本社会の諸政策はあらゆる分野に広がっているが、その主体は地方自治体が担わざるを得ない。
- ③ 政府は実践がなく、諸施策を発していくのは地方自治体の独自の力にかかってくる。

2024/01/28

明日から東京で開催される研修会に参加

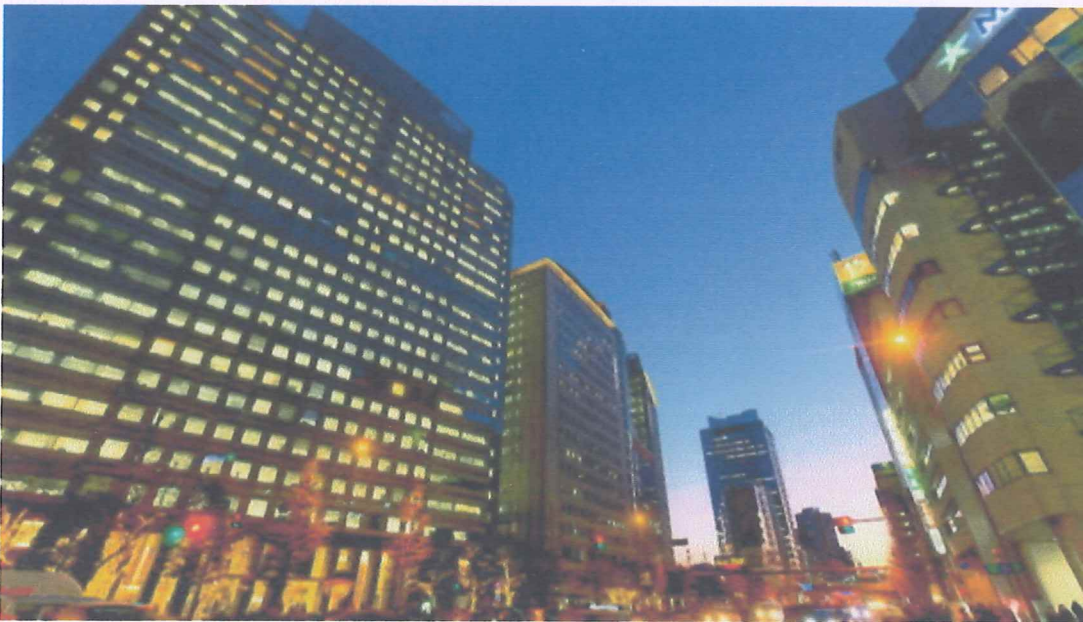


◆明日から二日間の予定で東京で開催される地方自治研究所主催の研修会に参加してくる。久しぶりの飛行機を使っての研修会参加である。明日は東京から情報をお伝えする。



2024/01/29

地方議会議員政策セミナー



◆セミナー1日目

今日は全体会。参加者は130人ほどで会場は日本教育会館

第1講座 立命館大学 森裕之教授による「地方財政政策を中心とした2024年度政府予算案の特徴 講義内容は、最初に財政の基本から入ったのだが、はじめから参加者を笑わせようというのか、ギャグをおりませながらわかりやすく話

していかれ、予定していた七〇分を超えて九〇分に及ぶ講義であった。

第2講座は、大阪社会保障推進協議会の日下部雅喜氏 「介護保険制度の動向と自治体における第九期介護保険事業の改善を目指して」と題するもので、介護については得意としていたつもりであったが、講師の話に思わず「見落としていた」ことや「見過ごしていた」ことだらけで、反省しきりの講座内容であった。あらためて山陽小野田市の介護保険事業の見直しが必要であることを強く感じさせられた。

明日は、分科会で「公共交通を巡る諸課題と地域交通政策づくり」に参加して、地方の公共交通への取り組みをどうしていくのかを学んでいきたい。



投稿

写真



山田 伸幸



1月30日 · 🌐

1月30日

研修会の朝 ホテル朝食はサラダメイン
のチョイス

